

しもながや



横浜市立下永谷小学校

ごはんができたら、すぐ食べる

学校長 関谷 道代

6年生のクラスの授業を見ていた時の場面。
「学校でのルールがあるように、おうちでのルールってありますか」
指導者からの問いかけに、子どもたちは、次々と手を挙げて答えます。

「ゲームは一日〇時間以内！」「帰ってきたら、手洗いうがい！」「遊びに行
くときは行き先を言う！」
そんな中、ひときわ心に残った言葉が耳に入りました。

「ごはんができたら、すぐ食べる！」



食事の準備をする人なら、共感できる言葉ではないでしょうか。「できたてのいちばんおいしいものを食べてもらいたい」「あったかいものはあったかいうちに食べさせたい」「その時にそろっている家族と一緒に食べたい」・・・作る人のいろんな思いが想像され、また、言われた子どもが素直に、時には「ちょっと待ってて～。これ、終わったらすぐ行くね」などと言ったのち、食卓について、パクパク食べるほほえましい情景が目につかびます。

6月28日、「学校運営協議会」(木の実本部運営委員会)が行われました。学校運営協議会とは保護者や地域住民が学校と協力して課題や問題を共有し、互いに教育の当事者として学校運営に取り組む公の仕組みです。町内会長や民生委員、学校・地域コーディネーター、キッズクラブの主任、保護者、近隣の中学校、高校の校長先生、保育園の園長先生等が委員として参加してくださいました。

放課後の公園の様子をあたたく見守ってくださる近隣の方々からの声、時には下校時に危ない歩き方をしている子どもに指導してくださる方々、本校の卒業生の活躍ぶりを伝えてくださる中学の校長先生、卒園児が下小に入学した後に訪ねてくる頼もしい姿を笑顔で語る園長先生。お祭りの実施が防災につながっていることを語る地域の方。どの場面でも、子どもたちが見守られている地域性を感じます。

また、7月12日実施された「地域子どもの安全対策協議会」。警察や区役所や土木事務所の方を迎え、校外委員、町内会長の方々と登下校の安全を守るための様々な要望やアイデアを出し合いました。交通事故などにあったときは迷わず周りの大人を呼ぶこと。登校時に子どもたちや保護者の皆様がきちんと並んで歩く姿の立派なこと。道路標識などが薄れているところの改善要望など、たくさんのご意見の言葉一つ一つから「子どもたちが安全に過ごせるために」という思いが確かに伝わりました。

いずれにしても、2つの会議に共通するのは、私たちのゴールは、「子どもが幸せな生活が送れる」ようにすること。「子どもは地域の宝」という発想です。夏休み中ではありますが、出場が決まった7月30日のTBS こども音楽コンクール横浜地区大会に向けて練習する子どもたちや、特別水泳教室に参加する子どもたち、キッズに参加する子どもたちが学校に向かう姿もありますので見かけましたら、頑張っている子どもたちにお声をかけていただけたらありがたいです。また、この夏、地域のお祭りがあちこちの公園等で実施されます。たくさんの方と声をかけ合える顔の見える関係になれば。子どもたちには、時間や空間をこえて見守られていることを感じてほしい。そんな夏にできたら、と心から願っています。

38日間の夏休み、給食がないため、家でごはんを食べる回数も多くなります。

「ごはんができたら、すぐ食べる！」よい夏休みをお過ごしください。そして、お手伝いも。是非。